



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.69
瀬戸内海の自然史と六甲山
/佐藤 裕司
2008年12月発行



高塚山層（垂水区、約40万年前の海の地層）

第69回テーマ:

瀬戸内海の自然史と六甲山

講演内容

- 大阪層群とは
- 第四紀の気候変動と海水準変動
- 六甲変動

実施日：平成20年12月20日（土）
午後1時～3時45分
場 所：六甲山YMCA



講師：佐藤 裕司さん
プロフィール

1957年大阪府出身。神戸大学大学院理学研究科修了。2004年から兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授、人と自然の博物館自然・環境評価研究部主任研究員を兼務。

クリスマス間近の里見ホール

12月になり、市民セミナーは会場をYMCAに移して開催です。12月にしては暖かく、会場の里見ホールの暖房も不要でした。里見ホールには飾りつけが施され、クリスマス気分の中のセミナーとなりました。参加者は29名で、初参加の方もたくさん来られました。

参加者の関心も高い有意義なセミナーになった

市民セミナーは、兵庫県立人と自然の博物館の佐藤さんをお招きしました。瀬戸内海や六甲山がどのように形成されてきたかと、昨今私たちの生活の中でもよく耳にする地球温暖化問題について、数多くのスライドと豊富な資料でお話いただきました。

専門用語が何個も出てきた学術的なセミナーでしたが、関心の高い分野ということもあって参加者からは大好評で「今まで一番有意義なセミナーだった」との声も多くありました。



クリスマスの飾りで彩られた会場

地球環境問題の研究は現在進行形

瀬戸内海は125万年前に誕生して以降、気候変動によって陸になったり海になったりを繰り返した。現在見ている瀬戸内海が海になったのは1万年

前に降に過ぎない。六甲山はプレート運動の応力場として隆起し、沈降して海になったのが大阪湾だとお話されました。

地球環境問題については、気候変動の要因、温暖化の研究成果や学説をご紹介いただき、「結論が出るのは1万年待たないといけない」と述べられました。

私たちの身近に悠久の歴史の痕跡が残されている

数千万年の歴史を遡る壮大な内容の講義でした。途方もない長さの歴史が、星砂や近所の地層など、身近な場所に残されていることに驚きました。

地球温暖化問題では、温暖化によって逆に氷河期が訪れるという説もあることを知りました。諸説をご紹介いただき、手探りで研究が進められている臨場感が伝わってきました。温暖化が実際にどういった影響を及ぼすのか、答えは1万年後ということですが、私たちも1地球人として未来に誇れる行動をとりたいたいと思いました。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

参加の感想 南部 哲夫さん

ぶらぶら歩くのが好きで、震災後、月に1から2回、六甲山登山をしています。このセミナーは初めてなので、他との比較はできませんが、非常に良いセミナーでした。興味あるテーマ、短時間ながら完結にまとめられた内容、講師の佐藤先生のわかりやすい話、すばらしい資料といったところです。またセミナーの環境（六甲山頂で行われていること、YMCAのホール等）も良かったと思います。次回も、機会があれば参加したいと思っています。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、灘区役所

公益信託自然保護ボランティアファンド、

公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド